

こんにちは、SSH推進委員会です。SSH推進委員会は富田林中学校・高等学校のSSHの取組みを企画・実行する委員会です。第4号となる今回は、8月8・9日（火・水）に実施した「SSHサイエンスツアーin愛知 ～出発・核融合科学研究所・本校OB山口様の講演会編～」についてです。

## ☆「SSHサイエンスツアーin愛知」を開催しました！！

8月8・9日（火・水）の1泊2日で「SSHサイエンスツアーin愛知」を開催しました。高校1・2年生の希望者の中から抽選で選ばれた30名が参加しました。2回の事前学習・事前学習発表会を経て、ようやく当日を迎えました。当日8日は8時50分にバスに集合し、誰一人欠席することなく、晴天にも恵まれ、参加予定者全員で出発しました。

## ☆SSHサイエンスツアーin愛知 行程☆

- 1日め：岐阜県にある自然科学研究機構 核融合科学研究所を訪問  
宿泊ホテルにて、本校OBである理化学研究所 山口様をお招きしての講演会
- 2日め：愛知県にある自然科学研究機構 基礎生物学研究所・分子科学研究所・生理学研究所を訪問  
愛知県にあるリニア鉄道館を訪問



### ①核融合科学研究所

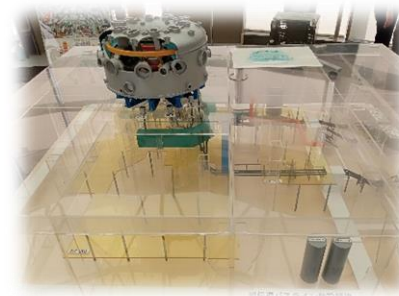


1日めに岐阜県にある核融合科学研究所を訪問し、「人工恒星をつくる」という研究課題に取り組んでいる研究者の講演会、実際の研究施設の見学をしました。

第1部は、「人の手で星をつくる」ことを物理学や「乱流」の解析から研究している方の講演会です。物質を構成する分子・原子・原子核の説明からプラズマに関する説明、星を輝かせる核融合エネルギーについての説明がありました。そして、「人工恒星をつくる」ための課題として、超高温のプラズマを閉じ込める方法として、トカマク型とヘリカル型が考えられており、全世界で研究が行われていることを学びました。また、プラズマの中で起こる「乱流」について解析し、乱流を起こさないようにすることが「人工恒星をつくる」ためには不可欠であることも学びました。



第2部は、実際の核融合実験施設は見る事ができなかったものの、数多くの実物大の装置や過去使われていた実験装置、液体ヘリウム貯蔵タンクなどを見学し、その装置の大きさに驚かされました。また、「下町ロケット」のロケでも使用された中央制御室も見学でき、モニターの数や1つの研究に携わる研究者の人数にも大変驚かされました。装置や実験についての質問も数多くすることができ、最先端の研究について学ぶことができました。



## ②本校OB山口様の講演会



岡崎ニューグランドホテル  
OKAZAKI NEW GRAND HOTEL

サイエンスツアー1日めの最後は宿泊するホテルにて、本校OBで現在は理化学研究所で研究をしている山口様のご講演です。

ご講演の内容は「現在の研究内容について」と「研究者としてのキャリアパス」についてでした。

「現在の研究内容」については、専門であるスピントロニクスに関する説明でした。原子・分子の高校で学ぶ話から大学で学ぶスピンの話まで、幅広くかつ最先端の研究内容でしたので、生徒たちは一生懸命聞き、理解していました。

「研究者としてのキャリアパス」については、大学入学から大学院、学会、研究所での生活など普段聞くことのできない貴重な話を聞くことができました。最後には山口先生の若手研究仲間の方々からも富高生へメッセージをもらい、生徒たちはこれからの未来について考える大変貴重な経験をすることができました。



ホテルでの講演会の後は、全体で夕食を取り、各自部屋へ戻りました。

ホテルは岡崎城を目の前にした抜群の立地で、2日めの朝食は9階スカイレストランでのバイキング。英気を養って、いざ2日めです。

2日めはNo.5へ続きます。